



「今年の新語・流行語大賞」と「今年の漢字」が発表されました。流行語大賞は「リアル二刀流、ショータイム」、今年の漢字は「金」でした。去年はそれぞれ「3密」「密」という、コロナウイルス感染拡大に関する言葉でしたが、今年はプロ野球大リーグの大谷翔平選手の活躍や東京オリンピックにおける日本選手の金メダルラッシュのおかげで、明るい話題で1年を締めくくることができてよかったと思います。生徒達は今年も様々な不自由やストレスがあったはずですが、前向きに元気に学校生活を送ってくれました。保護者・地域の皆様には、今年も本校の教育活動に対してご理解、ご協力をいただきありがとうございました。生徒の皆さん、保護者・地域の皆様にとって来年こそはもっともっとよい年になりますように・・・

Merry Xmas and a Happy New Year !

(今回は、9月以降の学校生活を振り返っていきます。ずいぶん時間が経ってしまった話題もありますが、今さらと言わず、思い出しながら読んでくださいね。)

【冒険活動教室】 ～仲間と共に協力し 3年間の思い出パズルに1ピースを！～

9月23日(木)、1年生が冒険活動教室を実施しました。当初は1泊2日の予定でしたが、緊急事態宣言中のため、日帰りでの実施になってしまいました。友達と一緒に宿泊できなかったことは残念だったと思いますが、生徒達は登山や選択活動に元気に笑顔で取り組んでいました。わずか1日の活動でしたが、勇気を出して挑戦したり、あきらめずに困難を乗り越えたり、みんなで協力したり助け合ったりする中で、クラスの仲間との絆を深めるとともに、2組の平野くんが考案したスローガンのとおり、3年間の思い出パズルの貴重な、そして素敵な1ピースになってくれたことを願っています。



【修学旅行】 ～おもしろいことはもう、自分たちで作るしかない！～

10月4日(月)～5日(火)の1泊2日で、3年生が待ちに待った修学旅行に行ってきました。今年の修学旅行は、コロナウイルス感染拡大の影響で、行き先は京都・奈良から金沢、そして最後は那須へと変更し、実施時期も6月から9月そして10月へと二転三転した末にやっと実現できた旅行でした。変更するたびに生徒達をがっかりさせてしまったことを本当に申し訳なく思っていますが、3学年の先生方が、何としても生徒達のために宿泊での旅行を実現したいという思いで、何度も計画を作り直してくれました。「飲み物以外おやつなし」「ホテルでは他の部屋への出入り禁止」など、感染対策で様々な制限があったにもかかわらず、6組の高山君が考案したスローガン、「おもしろいことはもう自分たちで作るしかない」の言葉どおり、旅行を全力で楽しみ満喫しようとする生徒達の姿を見て、とてもうれしい気持ちにさせられました。与えられた環境の中で、最大限楽しむことができる前向きな3年生の生徒達は本当に素晴らしいです。我々教師も、中学校生活残り3か月となった彼らにより多くの感動を与えられるよう、思い出づくりをしっかりサポートしていきたいと思います。



【最高条件と最適条件の話】 ～ 2学期始業式の話から ～

「植物が育つ環境には『最高条件』と『最適条件』の2つがあるそうです。『最高条件』とは、文字どおり最高の、何もかもが満たされている環境条件であり、『最適条件』とは、多少の不満はあるが、植物がちょっと頑張れば乗り越えられる環境条件なのだそうです。そして、『最高条件』で育った植物は、わずかな環境の変化にも適応できずに枯れてしまうことが多いのに対して、『最適条件』で育った植物は、たくましく生き残り、育っていくそうです。これは、我々人間にも言えることだと思います。

誰でも、悩みも不満も全くない楽しいだけの生活にあこがれるかもしれませんが、不満やストレス、嫌なことがひとつもない、いわゆる恵まれすぎた環境で育っている人は、壁にぶち当たったり困難に出会ったとき、それを乗り越えるだけのたくまさが育たないということだと思います。逆に、多少の不満やストレスは抱えていても、それを我慢しながら、自分で楽しみを作ったり見つけたりできる人は、難しい問題を抱えた時に、知恵を絞って、苦労しながらもくじけずに乗り越えていけるということだと思います。

自分の今の生活が『最高条件』ではないことにはがっかりする必要はありません。悩みや不満があることをマイナスに考えず、悩みや不満があるからこそ、自分は成長できるはずだと発想を転換してみてください。『最高条件』を求めるのではなく、『最適条件』の中でたくましく成長してほしいと思います。今のコロナ禍の環境は、『最適条件』どころか『最悪条件』と言えるような厳しい状況かもしれませんが、行事の中止や変更のたびに、がっかりする気持ちを抑えて前向きに楽しめる本校生徒の皆さんなら、この状況を乗り越えていけるはずだと信じています。」

【文化祭・合唱コンクール】 ～心に想いが響きわたる 希望と感動 輝く美声 舞い上がり～

10月30日（土）、本校の体育館で文化祭を実施しました。昨年は感染対策のため合唱コンクールのみの実施でしたが、今年は合唱部や吹奏楽部の発表、映像による有志のダンス発表も行いました。感染防止のため学年ごとに入れ替えながらの実施でしたが、業者によるライブ配信で各教室で鑑賞してもらうとともに、今年は保護者の皆様にもライブ及び期間限定で配信いたしましたので、スマホ等でご覧いただけた方も多かったと思います。ただ、来年こそは会場でお聴かせしたいと願っています。

今年は9月末まで緊急事態宣言中だったため、各クラスの本格的な練習開始が10月になってからという、本当に短い練習期間でした。しかも、全員で合わせる練習回数を制限し、ほとんどがパート練習のみという厳しい条件でした。しかし、どのクラスもいろいろと工夫しながら熱心に練習に励んでいました。生徒達が本番で歌う姿と表情からは、心をひとつにして幾多の苦労や困難を乗り越えてきたクラスの熱い思いが伝わってきました。その心に響く歌声に大きな感動をもらいました。本校の生徒達の底力を見せてもらった気がします。この合唱コンクールを通して仲間との絆を更に深め、クラスとして大きく成長してくれることを願っています。

また、合唱部の歌声や吹奏楽部の演奏には、各種コンクールが中止になったりCD録音による音源審査に変更になったりして悔しい思いをしながらも、腐ることなく一生懸命練習してきた集大成としての思いが込められているようで、とても感動的でした。生徒の皆さん、素晴らしい一日をありがとうございました。



1 年金賞 4 組



2 年金賞 4 組



吹奏楽部



3 年金賞 5 組



合唱部